

安倍政権は、生活保護の生活費にあたる生活扶助を、活保護は、国民が人間らしく尊厳をもって生きる権利を保障する制度。引き下げによる人権侵害は許さな
3年間で6・5%引き下げのうえに、医療扶助などの
締め付けを強めようとしています。これに対して「生
い」という声が高まり、たたかいがおきています。

生活保護切り下げ 各界から抗議の声

4面に4氏談話

は「憲法違反だ」と国を訴えた朝日茂さんのたたかいは国民的大闘争に発展し、保護基準の引き上げをかちとりました。

「福祉が人を殺すとき」といわれた生活保護しめつけや「適正化」とたたかった1980年代、保護基準の男女差別を廃止

させました。近年では、いったん廃止された母子加算を復活させ、いま、老齢加算の復活を求める

生存権裁判で会員約100人が原告としてがんばっています。

生活保護によって希望の光をみつけて生きていく多くの人たちを知る私たちは、この制度を守り

発展させるため、全国と地域で共同を進めてたたかいます。

貧困の拡大再生産招く

国は、賃下げ、首切り野放し、低年金の悪政をやって低所得層を増大させました。今度はその低所得層と比較して、生活保護を切り下げのつもりです。

弘義が安

弘義さん
こんなやり方は、貧困を拡大再生産するばかりです。「健康で文化的な最低限度の生活」を保障した憲法25条の実質的な改悪です。

全生連は国民生活の最低基準の確立をめざし、今年、創立59周年。生活保護基準引き上げと申請

権・受領権を保障させる運動に取り組んできました。貧困で命を失った仲間

を長
康会
健会
と合
生活連
生会
全守

「いま私たちががんばらなければ、日本中が貧乏人になってしまおう。そんな思いで全国の会員がたちあがっています。100万枚のビラやパン

涙ながらに行政と交渉したこともありました。低すぎる生活保護基準

の光をみつけて生きていく多くの人たちを知る私たちは、この制度を守り発展させるため、全国と地域で共同を進めてたたかいます。

